# **社内ハッカソンイベント**

## **1. イベント目的**

* AIと共創する、新しい開発スタイルを体験しよう！  
  生成AIを活用したチーム開発を通じて、未来の開発手法を実践的に学ぶ。
* “つくる”って、やっぱり楽しい！  
  日常業務とは違う自由な発想で、ものづくりの喜びを再発見。
* 誰かに使われる喜びを、リアルに感じる！  
  自分たちの成果物が実際に使われることで、達成感とモチベーションを高める。

## **2. イベント概要**

* イベント名：社内ハッカソンイベント
* 開催時期：9月頃を想定
* 参加人数：10名前後
* チーム構成：2〜3名で構成されるチームを3〜5チーム
* 参加形式：リモート参加者を含むハイブリッド形式を基本とする
* 開催場所：
  + 東京メンバー：オフィス or リモート参加
  + 博多メンバー：リモート参加を想定
* チーム編成方針：  
  「似たような性格・志向でストレスなく進められるチーム」 を編成の基本方針とする

## **3. 参加エントリーシステム（改訂）**

### **システム概要**

* 生成AIによる対話形式のエントリーシステムを構築
* 参加者の性格的要素（血液型、星座、干支、兄弟構成など）、趣味・嗜好（好きな食べ物など）をヒアリング

### **MBTI判定機能の追加**

* 簡易判定（目安5分）：10〜15問程度の質問でMBTIタイプを推測
* 本格判定（目安15分）：信頼性の高いMBTI診断サイトへの誘導も視野に入れる
* ユーザーにはどちらかを選択してもらう形式

### **ニックネーム生成**

* ヒアリング情報をもとに、生成AIが匿名性の高いニックネームを提案

## **4. チーム編成とミッション考案**

* チーム分け：エントリーシステムで収集したデータと運営側の指示に基づき、運営が編成
* ミッション考案：ハッカソンのテーマに沿った、各チームに割り当てるミッションを運営が考案・付与

## **5. スケジュール（案）**

| **時期** | **内容** |
| --- | --- |
| 開始2週間前〜前日 | エントリー受付 |
| 金曜日 定時後 | チーム編成とミッション発表、アイデア検討開始 |
| 土曜日 11:00〜18:00 | 開発フェーズ（プロトタイプ製造） |
| 翌週火曜日 | 成果発表会（全体ミーティング） |

## **6. 開発環境と支援ツール**

* Slack：
  + チームごとに専用チャンネルを作成
  + 生成AI Botをチャンネルに参加させ、議論を支援
  + 音声会議（ハドル等）では議事録・文字起こし機能の活用を検討
* VSCode：
  + Copilotなどの生成AIによる製造支援ツールを活用

## **7. 生成AIの活用ポイント**

| **フェーズ** | **活用内容** |
| --- | --- |
| エントリー | 対話形式で情報収集、ニックネーム提案 |
| チーム議論 | Slack Botによるアイデア支援 |
| 製造 | VSCode Copilotによるコード生成 |
| チーム編成 | 性格・スキルを考慮したAIによる最適化 |
| MBTI判定 | 簡易性格分析システムの構築 |

## **8. 確認事項**

* 9月開催に向けた具体的な日程調整
* 生成AI関連ツールの利用可否、ライセンス・コストの確認
* 発表会での評価方法（投票形式など）の決定

## **9. 検討事項（追加）**

### **博多メンバーの扱い**

* 選択肢：
  + 東京メンバーとランダムに混成チーム
  + 博多メンバーで1チーム編成（オフライン開発も検討）
* 判断軸：
  + オフライン参加の可否
  + チーム間のコミュニケーション効率

### **チーム分けの方針と精度検証**

* 検討ポイント：
  + 収集データ（性格・スキル）の組み合わせ方法
  + チーム間バランス（個性・スキルセット）の最適化
  + 精度検証方法と運営側の調整余地